(1)

浴

聞

京都市北区小松原南町 TEL (463) 3281 (代) 印刷佛吉川印刷工業所 第二十一回

々に見送られ、二十一期生百九十名が巣立って行った。目前の大学入試を控えて彼等の胸 中はいかばかりであっただろうか。何はともあれ、生徒諸君、数々の名物男を生んだ二十 期生の卒業を祝し、前途に期待しようではないか。 去る二月七日、第二十一回洛星高校卒業式が行なわれた。在校生・教職員・保護者の方

田 源 次

ナゾであることに気づくと思いま つのです。との様にして、自分の 人間であることの批判や疑いを持 人格を眺めるほど、自分の存在が 貢献できません。 人間が未知である故に、人間は

目ざめる時、誰れでも自分の権利 か。他人にも同じ思考を求めて、 いのか、人間として何を成す可含 務感にも目ざめるものです。そこ に目ざめるだけでなく、自分の義 人間が一個の人格であることに 身は人間として、これでよ 一会に自分の現在、過去、未来を知 す。若しも反対に、人間各自が完 な魅力があることを申し上げま る不安から自暴自棄に陥入ること が未知であればこそ、人間は偉大と真理を探求する科学が発展しま もありますが、私は諸君に、人間 満ちた自分、未知なる将来に対す 不幸に多くの若人達が、ナゾに一ことが出来ます。即ち神を考え、 す。との様にして人間の解明と人 間をより豊かにする文化の発展の 真理を追求する哲学、自然の法則 神を讃える宗教心、それが偉大な 芸術を生み出しています。また、

で、物事を考えなければならない 同一人種であることを知ることの す。その上、さらに、狭くなった り方も、人類の生、死という重大は足実際とかけ離れていたかは、 出来た現代人である諸君、諸君は が進む程、個人の行動に対するあ 新たにし、住みよい社会の為に一 常に共通なビューマニティーの下 な問題にもかかわっているからで す。それは機械文明、情報化文明 性的開発が諸君に要求されていま は申すまでもありません。地上を で行われている、それとは別に常 的行動による単調な狭い領域だけ 世界、特に人間が文化を共有する 層の冷静な判断力を養うための理 に新しい世界に発展していること 人間の文化は決して動物の本能 ありました。しかし、それがどれ強い連帯感が生まれました。この

化の為に各目に与えられた、タレー まれたふん囲気を持っていること
人格形成に大変大きな影響を与え 共通なる人間性と共通なる文一たのは言うまでもありません。

分の能力を追求することも出来まありません。十字架の下で皆、兄 せん。ひいては人間文化の発展に「第である」と、人類愛に深く根ざ のとなるのです。死んだ人間は、 ば、其の時、人間は不動なもの、 りつくすととが出来たとするならフトを充分に発揮する必要がある 目分の将来に希望することも、

自しも、ローマ人でも、ユダヤ人でも 国定化したものであり、死んだも ことを理解したと思います。また一て、ミッショナリ達があげられま 聖パウロの次の言葉を常に記憶し て下さい。「私達はギリシャ人で

くいられるのです。その一人と

が、宗教家、研究家、其の他に多 に徹底した仕事、事業をなす人々

人間の背後にある精神力を考える。す。諸君の未来の幸、不幸を予言 | 忍耐と努力をなされることを祈り

契機となっていると言うことは決行して頂き、校長先生を始め、在 出来る者は何処にもいません。自一ます。 に、このように立派な卒業式を挙 答 辞 のです。

何か陰険で、変に堅苦しいものがラブ、同じ学年、同じ学校というった先生方。無 た時、洛星に対するイメージにはてそれらの活動を通じて、同じク いうよい中学校に、入学を許されぶつけることができました。そし 小学校六年生が、いわゆる世間のクラブ活動や、文化祭・体育祭にには暑い日や寒 つかしい日々も昨日の事のように他の学校の多くの人々が受験に注 うございます。 にも出席して頂いて、本当に有難できたといえます。私たちは、全 校生の皆様からはお祝いと励ましみると、私たちは皆たいへんのび 思い出されます。何もわからない 思い起こせば六年前の、あのなともなく中学生活を送りました。 ぐ大きなエネルギーを、私たちは下さり、また時

今さらいうまでもないことです。 わりの環境とのかかわりを意識す くらかでも気づき始め、自分とま 支えてくれる大きな力となるにち して、本当の自分というものにい クしていた中学一年生が、今こうの学校で見、感じ、考え、おこな 味わいがにじみ出る先生もおられ るよい学校に入ってきて、ホクホー長して社会人になった時にも、と る高校三年生にまで成長してきた それにしても洛星といういわゆ いと思います。そして私たちが成 いても、連帯の輪を広げてゆきた 貴重な体験を生かして、社会にお がいありません。 あい間のふとした言葉にも、 な先生。授業の わって来るよう 間的暖かみが伝 言のうちにも人

本学園が幸いにして国際的に恵一のです。 この六年間が、私たちの 同じ目標をもって一緒に悩み行動 私たちはこの学校が世界でもっ うなれば、今まで僕たちが何気な かるのですが、学校生活を送って 精神の純粋さなどは、どんどん擦 し、また歓びを分かちあうような ことはほとんどないでしょう。そ もうこれから先、多くの人間が申し上げたいと思います。 がいくつかあります。 私たち自身経験したのでよくわる間にも、私たちの若々しい力や との学校に残しておきたい言葉

ん。そうして机にかじりついてい

昭和五十三年二月七日

拠

*

した人格であって下さい。 自然は人間に対して厳しい父で||薬生諸君、洛星の精神を忘れず、 のの考え方をする様に指導し、こ す。洛星では神を中心とした、 の考えであると信じています。卒 れが洛星の存在理由の一つでもあ 幅の広い人格とはこの様なもの

本日とこに私達二十一期生の為とは、大きな幸福であると思えるでしょう。 せんが、この中高六年間という大感じたりしたことでも、何年かす

の言葉を頂き、また数々の御来費のびとした学生生活を送ることが若い私たちでさえ圧倒されるほど 私たちの学校生活を振り返って リントを労を憎 な先生と巡り会えたことでした。 しまず用意して の熱意を持って何かと指導して下 また、六年間の経験の中でもうか……。

てこそ、不満なとなのです。 いでしょうか。 状況に積極的に

力を注いで下さ い日の補習にも

ったいろいろなことが、私たちをました。その上ブラザーや多くの実させ、道を開いてゆく姿勢が大に戦いることであると思います。 職員の方々にも非常にお世話にな 切であると私たちは考えます。 そ どうか、 二十一期生が一端を担っ 深い お礼れから、受験の為に、あまりに大てゆくべき」 ないことだと言わねばなりませ きな労力を費すのは、非常に勿体 るというのはどうかと思います。 現状を直視し、その時その時を充たちを育てて下さった多くの人々 活躍に、大きな期待を持って下さ つもりですし、そうすることが私 一十一世紀の社会での

送

の通り。

卒業式での表彰は次

六ヵ年皆勤

六カ年皆勤は十四人 六カ年精勤

でとうございます。我々在校生 同心から御祝い申し上げます 今、皆様の御卒業に際し我々 二十一期生の皆様御卒業おめ いのではないかと思います。 受験というものが高校生活に

分を決定するのは自分自身です。

申し上げます。 る今日、そのありがたさを感ず 社会の中で、未熟な我々にとっ ようです。思えば入学当時何も ことでしょう。皆様が卒業なさ いてくださったことが、どれほ で走馬灯のように浮かんでくる した日々の様々な思い出がまる るかぎりです。今改めて御礼を て信頼できる兄のような皆様が した。洛星という一つの小さな わからない我々に優しく手をさ の胸の中には、皆様と過ごしま しのべてくださったのは皆様で ょうか。また、皆様は受験は人 受験を超越した絶対的なもので 定されるものではなく、むしろ り、高校生活が受験によって否 活躍をされたクラブ活動によ マの文化祭、スポーツマンシッ 者らしいエネルギッシュなテー あの「限りなき前進」という若 生の皆様がつくりあげられた、 は事実です。しかし、二十一期 何らかの形でかかわってくるの にためされるのではなくて自分 あることは明らかではないでし た体育祭・球技大会、華々しい プと応援のすばらしさを示され

思われるかも知れないが、この為

れ等の人々がいるのです。パカト

影響の人々であり、

又現在にもろ

た、ものの考え方を持つ様に指導

神を中心と

して来ました。その例が、旧、新

と共にいる」と言われています。 しかし、神は一私は、あなたたち

てゆかれる皆様は、はやくも新

しい人生の出発へと期待に胸ふ くらむと同時に、来たるべき受

今日この栄光の洛星を築立っ 星はその中のほんの小さな一社 まったものとするのならば、 われるものと信じます。 して、決して受験をさけて通る のではなく、積極的に立ち向か の最高のものを見せるものだと この世の中が小さな社会の集 こえられ、 蝶とさせて頂きます。 最後にせまりくる受験をのり 九七八年の春が皆

切な時期をこの学校で過ごせたこ ればきっとよい思い出となること な状態に追い込まれることが多い きだと思います。 ものです。また「学校の授業なん 不満を感じざるを得なくなるようや体育祭には、積極的に参加すべ

く高校受験ということを考えることさった先生。時には膨大な量のプら、もっと強い前向きの姿勢をもなければ、又盲目的に未知に飛びっ、複雑な気持ちは隠し切れず、 一つすばらしかった事は、いろんる方がましだ。」などを考える人の未来についてすら、はっきりと も出てくるかもしれません。 力に満ちあふれている皆さんなとは、この未来を恐れることでも一年でこの学校から出て行くとい しかし私たち以上にまだ若くてす。でも今、 」と考え、「家で勉強す ういう心を持っ胆に決断することとそ、大切なこと、気は終った。そして今は、入試 つことができて込んでゆくことでもありません。 当然ですし、そ 自己を直視し したことはわ まだ理解の範囲の外にあり、自分 からないといえま

変に開き直って過言ではないでしょう。私達は乙 なれるのではなす。二十一世紀の未来は私たちの 大人ぶったりす れから精一杯の努力を続けてゆく 対処してゆく若まる時には、 者らしい学生と のまさに働き盛りとなっていま 肩にもかかっている、といっても そこで在校生諸君。お世話になっ ももうすぐ出ることだろう。—— 成功を祈ろうではないか。 た21期生の方々のため、栄誉ある

第二十一回本業生

十三人 三ヵ年精 勤

八人

衣

がやって来た。寒くな

今年もまた寒い季節

十人 三カ年皆勤

験という試練の事が頭を去らな 思います。 のではない事をよく御存知だと 神はどこへ出ても恥ずかしいも 会にすぎない しかし、 洛星で培われた精 のかもしれませ

卒業式があった頃から2月18日ま

タになっていた。我が洛星でも、

間程前まで

毎日のように

新聞の

ネ なるものがやって来て、つい一週

は特に、「ソ連カゼ」

が世の常である。今年 れば風邪が流行するの

で、学級閉鎖・学年閉鎖が相次い

た。▼学級閉鎖になると、健康な

奴は飛びあがって喜ぶ。……かか

して今度会うときは皆様は我々 と大きな人間関係の中での出会 してやって下さい。皆様との高 たかわいい雛鳥達の事を思い出 を「人生の弟」として、我々は いへの前奏曲にすざません。そ 校生としての別れは、将来もっ ときには古巣の洛星や残して来 皆様を「人生 って下さい。そして選を休める てその雄々しい翼を広げて旅立 どうぞ輝か しましょう しい未来へ向かっ の兄」としてお会

> いし鼻づまり、咳はひどいし、う った者にとっては災難だ。頭は重

単ではありましたが在校生の言 事を心からお祈り申し上げ、簡 様にとって歓びの春となります 在校生代表 三田英治 生 月七日

ないようにしましょう。▼ところ 生の皆さん、この病気にはかから

しだ!」と思っている証拠。21期

なって何もしなくなる心の病のこ

してホッとした五月頃、無気力に

とである。これにかかるという事

「有名な大学に入る事がすべ

つつあるらしい。入試を無事パス

に「五月病」というものが広まり

係もないが、この頃の大学生の問

ものじゃない。▼風邪とは何の関 前に風邪なんかひいたらたまった 験生にとっては最大の敵、入試直 っとうしいこと甚だしい。特に受

二〇〇一年、二十一世紀のはじか、魔の答案用紙に必死で取り扱 私たちにとって、大人の社会は一な先の事は分からん。」とそっけ とてもありません。一の心境だろう。▼何はともあれると、正しく判断し、大の心境だろう。▼何はともあれるとしてもありません。 私たちがなすべきことないで。」が心に残る。あと 控える高2の人に聞く。すると、 ない返事。そして、来年に卒業を んでいるのかは分からない。結果 中1の一人に尋ねてみた。「そん んな意識を持っているのだろう。 最後の一言「そんな事聞くもんじ

毎日くりかえしているにちがいな一たその魔手からつやっと解放され のにその足をひっぱるに似たこと。端にデビルの洗礼を受け、長かっ

浴

う。胸をはって営える何かを私は

生徒選、まったく君達はすばらしが、立派に乗り越えてくれること

い。九重の山々は晴れ渡って、余

りにも美しかった。そういえば、

築したあの日の 舞台がなつかし

父さんが生れる前、お父さんのお

「おれが生れる前だ、おれのお

理やり起こされるようなものだ。

一、卒業とは暖かい満団から無一う。(将来遊びに行く時は必ず誘一ぞのミサ強制の学校の比ではない

って下さい。)四、下級生の皆さ

でしょう。第三に、僕はこの何と

も言えぬ雰囲気が好きなのです。

卒業を迎えて、ようやく許

げれば関りがない。しかし最大の空白、ああ、知る人ぞ知る層質の 上の不利ーと失なわれるものを上一号。前号からの六カ月以上の長い

損失は時間である。複人しても決一苦難の道。決してサポっていたわ

けではないのよ、ホント。高3ト

リオが脱げた穴を埋めるべくガン

バル高1四人衆。これからはガリ

ん。健康のため勉強のしすぎに注

(「受験生の言葉」より) 二、あ

父さんが……、この歌はいつもあ

「先生、もう年やで。あんまり

先には、まだまだ。受験などよ一誰か高原ホテルの番犬に噛まれた一競って読みふけった日は楽しかっ一年問養えが止まらなかった人も |やめないでー。六、先生方へ。夢

|ったんだ。」 君達と西欧の文学を|だった。 (共学の大学にはいって|骸にあたって一言。 励ちゃーん。

ーあ。ついに女っ気なしの六年間一意しょう。五、キャンディーズ解一これは先輩の築いたユーモアあふ

し、こんな私についてきてくれた一受験の関門が待ちかまえてはいる

空白だ!まっしろだ!しかには、これから闘わればならない 持っているだろうか。何もない少る。それとの闘いと同じ様に君達 Ę

私は何を言ったらよいのだろ

はかくしえない。

厳しい寒さがこれから襲ってく

てゆくべし。そなたに見せなば親び、いきなり拳を上にふり上げる

た。「明後日の夜は芝居見に連れ」て彼はアリョーシャに金切声で叫

恋しと思ふ心必ず起らん、其時わ

2

れを父と思へ……」学年の力を結

もう卒業式もまじかだ。その

の感傷を値引いても一抹の寂寥感

から離れていくということは一種

のすみかである岩壁から……」

「山椒魚は悲しんだ。彼は、彼

者がいたな。

生

高3C担任

木

次

やることにいちいちロを入れるん「塗現代に生きる者が、それを踏襲

れもええとこや。なんで若い者の

うものは、頭がかとうて、時代選|に、何ほどかの新しい財産を加え|育てて、第(*+1)世代以降での

て遭していたのが通例でした。私

豊かな実りを期待したいのです。

くれることに快感を感じ、それこ

世間には他

高 3 A 浪費

家

そ自分の人格があるかの如くに

自

という名だけで人が特別扱いして

|(3+1)世代より後の世代の人々|までに築いてきたものを、大事に|ていいながら、外に出れば、洛星

ている者であっても、第ヵ世代目

校なんかではない、と口をそろえ

中の、ちっぽけな地球の上で生き

大きな宇宙の中の銀河系、その

獲得したでしょう。しかし、その

想主義や道徳

ればよいのだ。

は、たしかに他校に比べれば多く

実その中の生徒は、洛星はいい学

こうして君達との生活は始っ

ましたか!」青さめ半狂乱になっ

卒業雑感 高3A 上林

政司

う。)三、高三の皆さんに。チャ

ート片手に良平ファイトで頑張ろ一

人に及んでいます。おそらくどこ

に、無意識のうちにその影響が各

陥いるな。

空 高3 D

給与一最終給与に伴う退職金計算

や、や、やっと出ました九五

へんしゅうこうき

用一定年制会社における一年分の もその効果は大きい。予備校の費 いるくらいだ。皆、

気をつけよ一宗教色は薄くまた信者も少ないの

る我が洛星は素晴らしい。第二に

あるのか反省しよう。後輩諸君、

俗にいわれる「洛星的人間」に、

とはないが他の地域の私立大学で、を、おっているのである。 元の国立大学に合格すれば言うと一を与えてゆくように努力する義務 得る機会がある。現役合格ク地に育て、更には多くの人々に影響

がらも受験校としてなりたってい。会人として、暮していける人間で「得る機会がある。現役合格グ・地」に育て、更には多くの人々に影響かって当然で、おおらかに学びな」か。卒業に際し、真に謙虚な一社」には幸福のうちに事実上の大金を「は、大学で勉養し、これらを大木

惚れている連中がなんと多いこと。を得ている人がいるが、われわれ、霊魂は、まだ若木である。私たち

り、自分のからだを犠牲にして金して完極的な唯一の真理を求める

人の幸福を奪った神、愛にみち平和を求める心、そ

さたけかつや理性にみちた頭脳、人間尊重の精

の自覚と決意である。洛星におい の感謝であり、ミッションとして

私たちの内に育まれた、知識と

「見ましたか、ごらんになり

ツンと一人うつっている。一体い

づいた窓にスリ切れた私の姿がポーさ」があるのかもしれない。思え

君

達

「すまん」と思う。夕暮れの近|けでも今日の卒業式には「めでた

るのであるから、このことからだ

つになったら「今日は完璧だ!」二・高二・高三と四年間にもわた

と言える日が私に来るのだろうり、正直いって卒業後君達が格星

を私はしているのだろうか?苦

9 ح

う

高3A担任 田 良 平

思う。疲れが急にふき出してく も今はガランとして空しい。 ぼってきたのであろうその手は赤 ゃ、ちゃんとやるさかいに。」と た。こんなにすばらしい生徒遠に 声を出して教筌を最後に出て行っ たまであれほど臓がしかった教室には亀の甲軍団が出現、合唱コン くそして濡れている。つい今しが一慰めてくれるC君、等々。体育祭 「あーあ、一日は終わった」と「ィー」 「先生、さようなら」と元気な「無理したらあかんで。」といたわ 冷たい水でやうきんをし 生、心配せんといて、僕のこっち クールの「シャワラン・ビューテ りの声をかけてくれるB君。「先 、文化祭の「チャート式忠 「大和魂」一けることにしよう。 しろ姿に「ありがとう」と呼びか よいのだろう。そうだと、本業式一とともあるであ、ろう。「現実は通一た。網走まで行って掌の皮をはが一だけまともにとり組んだのは、像一時たりとも、君達を忘れること一でな、あばよ。 囲まれて私は何とお礼を含ったらることも、輝く島々に沿って進むったが、本当によい勉強になっ た。しかし本当によくやってくれ の日、学校を去って行く君達のう 懲戒もんや」と思ったこともあっ ロイこともあった。「もうあかん 応援団長…。思いは尽きない。グ

卒 生 の 諸 君

や、渦巻く淵に遭遇することの方

『暗礁に、乗りあげたり、「難破

れた者もいたな。でも、ついて来一としては初めてだった。僕のジャーはない。

が多いであろう。苦しみと懐疑の

港に身を寄せねばならぬことの方

ある第N世代の人が

と一人一人の顔が浮かんでくる。

ドッカリと椅子に腰をおろす

うに振舞っている生徒達、その心

に秘めてしかも何事もないかのと 深い人生のドラマをもうすでに内

は風の如くに揺れ動いているにち

高3B担任 藤 田

舟が君達のまわりの水を濁らすの な時、黒い帆を張った船や、汚い が多いであろう。しかしこのよう

がいないのに。この子達に一体何一れたとはいえ、入試を目前に控え一がいのある大海洋があるのであ しんでいる者の背中に大きな荷物|| 雪葉はおよそ実感を伴わないであ 痛む足をひきずっているろう。しかし中学一年になった途 とう。立春もすぎ名のみの春が訪くましく成長した君達には挑戦しり、ボロボロになった帆、用をな二十一期生の諸君、卒業おめでしり、はるかに手強い、しかし、た一を許してはならない。夜、嵐が去 た君達には「おめでとう」という一る。 人生は渡航ともいえるもので今 よくいわれることではあるが、 さなくなった船かじにため息をつ

こそ、村田神父が常々に君達に語

だ。

そして第(m+1)世代の人が、

積されてきた財産を元にして、第

代の人々は、第m世代以前より蓄

こんな展開の中で第(オ+1)世

いて、いかりを下ろす時、その時

にしてるだけだ。我々の若い頃

は、何でも独りでやって来たもの

事もきちんとできんで、不満そうは過去とせよ。)

ているのかわからん。身の回りの一を現在、正のとき未来、負のとき

第(2+1)世代の人に言った。|や。」と苦々しく思った。

高3D担任

小

紀

限りませんが、世界全体を大きく

は、エリート校といわれていま

ない。勝手に作るしかない。

もっとも、人間は自分で自惚れ一枚門をくぐった日が、昨日のよう

に思いだされる。次々とよみがえ

の不安をいだきつつ初めて洛星の

洛星を去る。大きな希望と一抹

件は正当性など持ち合わせようが

みなさん、外部から我々の学校

ギャップの感触

高 3 D

岡本 安裕

何でも……しなくちゃいかん」と だから、この問いにも「人は何が

いう条件がいる。そして、その条

(過去においても、

するかどうかはわかりません。

見たと言そうなっていると思って一す。それを否定するつもりはあり

ません。しかし、本当にそう呼ば

|れうる価値ある人格が、真にこの|で使っている言語も、論理にはて|ってくる学園の記憶のすべてが、

ている程、理性的ではない。ここ

んで不向き。だから、適当な論を一まさに、ほぼ笑みにみらた慈愛の

護り舎、洛星 そのものなのであ

「今どきの若い者は、何を考え

(ここで、 m、 nは整数、

0

地球上を見ていると、傲慢に見え

です。これが杞憂であればいいの

難解な哲学用語や、

高度の知識

でっち上げるのは容易だ。

従って、人は思いのまかに(理る。今、私の心にみちているもの

趣味も含めて)生きは、敬愛する先生方やブラザーへ

る人々が多くて、非常に心配なの一六年間で修練されたでしょうか。

船出していく君達に少々かたぐる 後、大学、社会、といった外海へ まっ先にあいさつをしてもらいた。第m世代の人の事を、「大人とい い。そしてあくる日のあけばのに マストの上、一窓くかかげて欲し りかけてやまなかった希望の旗を



田中 先生



H 3 B

藤田 先生

木村 先生

H3C

H 3 D

君達の卒業と同時に、

僕も洛星

康。入院しなければならないほど

ようなものではなかった。次に健

かきべ

るき生

此句、三ケ条ノロ伝在り、

るかと思えば、嵐の夜に、しんぎ出るほど笑って笑って……」僕に 見えんなどと、真面目らしく人を

地面に坐りこんでいた。私は涙が

白く候、今朝は霜が降って白菊が

忘

老後初心不可忘」

世阿弥「花鏡」より

「狸が碆に化けたなどの嘘は面

是非初心不可忘 時々初心不可

しまった。いわんやG・F、恋人

レはしない。 とも、ごまか 問いに対する

をしたこともなく六年間がすぎて

の類をや。いつも横目でにらんで

象的論談は、知的娯楽としてのおに自分なりに積極的な生き方を求

ても、人の実際行」めて着実に歩んで欲しいと願う一

学校側にも、生徒の実態、

考

それに、こういう抽一ある。だからこそ、私は後輩諸子

した答を出してもパーて来たのでなかろうかという事で

所答は、ない。もっ| 渦中にあり、我々は振り回わされ

んすることも、孤独の岸辺をよぎとっては専門外の荷の重い日々だ一墩く仰山的な嘘は極めて殺風景に

御座侯」韻文というものに、あれ、日も早く元気な姿を見せてくれ。

らなよさいである。じゃあ、

始まり。正に、さいせんじがけだ いじけていた。でも会うは別れの

動に及ばす影 もしろさはあっ

質は僅かだ。

大体、演繹論理には、公理とか一え方を汲み取って行く様な形で反

れる大前提が必要。一省を求めたいものだと思う。

出発の時 高3D 粟野

原理とか呼ばら

最後に、五十嵐君、福見君、

るであろう。晴朗な日々に恵まれ

け、今後さまざまな体験にぶつかるまわり出した。気がつくと私は

君達は良きにつけ、悪きにつ

「富地へ!」あたりがぐるぐ

た。

て下さった看護婦さんは美人だっにとってこよな音楽しみなのだ。 は、中一に入学したつもりで出直 っ。その日を思う時、それが又僕 一十年を終える。又、四月から

たくもてなかったの一言に尽き の大病は愚わなかったが、風邪は る。大体、まともに女の子と話し 何回も。そしてさいでは女。まっ

人はどう うどは人

B 原井 宏明 ンスクールと受験の間に統一した 「言るべきか」 この 理論を持たない 教師団。 それらの 幹、宗教部のみならず、ミッショ 頭数を揃える様な主義を推進する 閉鎖的なミッションスクールの根

配信天

職 写真協力

なく形式的拘束ばかり強める学校

の姿勢である

宗教心がなくとも

藤田行男 英明













慈愛の護り舎

を守っていくことでしょう。 り教験をとりながら、この雰囲気

> やりたい事をもった人間がどの程 うことは決してないが、何らかの い。学問でなければならないとい 稀であるような気がしてならな ような人間は高3において極めて と思っている次第であるが、その

度いるのかと思うに、学校側が果

Hiroshi

ぎの子詩の子恋の子ああもだえの|何人かが(もし人生に失敗したら

われ男の子意気の子名の子つる | ことですが、そのためにも僕等の

す。七、最後に僕達を象徴する鉄 のような六年間を感謝していま

中にも世代の断層があり数十年後

る。「時は金なり」ということを要望は高校渡り廊下の投稿箱へ。 有効に使える人とそ利口な人であ版ででも出しまっせく御意見・御

考慮すると浪人とは単なる浪費家一卒業までに百号出したいなあ…。

にすぎない。

ないものだ。

ところが現実は・・・ 很賢家にはなりたく

何ぞミ

心配なのは、生徒の中にも先生の とに大き負うものです。ただ一つ れる伝統と教師の方々の人間臭さ

る。六年間との学校で勉強してき

与えられた時

間・残された時間を

して寿命が延びるわけではない。

放されるという喜びを感じてい

の洛星がどうなるだろうかという

し入るようになりました。まず第 しみと洛星はいい学校だなあと感 卒業が近づくにつれ、僕はしみ 高3 A 森脇

すれば東大の法・医でもむしろ受某校や某塾の如くエゲツナク勉強

の大学にほり込んでもらえます。

に、適当に遊んでかつそこそこ

る。先ず、成績。これは自分の努 あまり選がなかったような気がす この六年間を思い返してみると がけだらなよさ かにうれしいことだと思うが、そ やったか、親の要望のままになっ かせたのではないかという疑問が してそれを見つけ出すようにして からっぱの自分に気づく場

より「ミッシ

り、それを本質的に何ら埋める事 う看板と実情とのギャップであ 洛星の印象を含うなら、それは何 卒業を間近に控えた私が今この 高3B 浅野 真司 ョンスクール」とい ッション スクール 副局長 表示な 梅筒中景井野

磨亮 田良富十男 和彦 H M M M M H 1 1 2 2 3 1 D A C A A D H H